

プロジェクト デリバリーを 改善する 3 つのステップ

建設業界は今、デジタル化という新しい時代へ向かって加速しています。そしてこれに伴い、建築設計、エンジニアリング 施工の業務プロセスにも変革が起きています。異なる専門分野間で効率的にコラボレーションし、プロジェクトのライフサイクル全体を通じてシームレスなデータ フローを共有できる新しいプロセスが浸透しつつあるのです。リスクを抑えながら迅速に業務を進めるとともに、プロジェクト デリバリーの質を高めることが可能になります。

「プロジェクト デリバリー」とは、契約に従って納品することだけを意味するわけではありません。広義的には、プロジェクト データを整理、調整、構築、効率化することによって、リアルタイムのコラボレーション、データに基づく意思決定、リスクの低減を実現することも、プロジェクト デリバリーに含まれます。これは設計・施工分離方式 (DBB) のプロジェクトでも、官民パートナーシップ (PPP) 方式のプロジェクトでも同様です。

建設業界のプロジェクト デリバリーを根本から変えつつあるデジタル変革の基盤となっているのが、BIM/CIM の手法です。チーム、データ、プロセスをクラウドベースのプラットフォームでひとつにつなげることで、プロジェクトがスマート化および効率化します。



「クラウドには、複数のチームを統合し、コラボレーション方法を一新する力があります。私たちはチームとしてひとつになり、情報を共有しながらプロジェクトを進めています。

水平型チームも垂直型チームも、設計データをリアルタイムで調整し、最新データをクライアントと共有しながらプロジェクトを進めることができます」

Gannett Fleming エンジニアリング テクノロジー マネージャー/David Butts 氏



リスクを低減し、迅速で質の高いプロジェクト デリバリーを実現するための3つのステップ

1) 人をつなげる:リアルタイム コラボレーションのパワーを活用

さまざまに異なる業種、会社、オフィスに属するチームをクラウドでひとつに結びつけることで、業務を最大限に効率化し、重要な情報やインサイトの損失を防ぎます。ワークフローを共通のデータ環境に構築することで、プロジェクトの関係者全員が、一元管理された正確なデータにいつでもアクセス可能になります。このリアルタイムの設計コラボレーションにより、プロジェクトのライフサイクル全体を通じて透明性が向上し、手戻りやコストの削減につながります。

2) データをつなげる:データをビジネスのインサイトへと変換

データから詳細なインサイトが得られるようになり、データに基づく確実な判断が可能になります。クラウドに構築された共通データ環境でコラボレーションすることで、プロジェクト内容を深く把握し、潜在的な問題を特定してすばやく解決し、日常業務に優先順位を付け、進捗状況を追跡できます。

3) プロセスをつなげる:プロジェクト管理能力を強化

プロセスをひとつにつなげることで、チームが共通の安全なデータ管理プラットフォームを利用でき、プロジェクト管理が大幅に効率的になります。プロジェクト マネージャーは共通のデータ環境で、アクセス制御を行ったり、クラウドベースで定期的にレビューしたりと、プロジェクト データを完全に把握し、管理できます。

クラウド コラボレーション ツールによる質の高いプロジェクト デリバリーによって、建設プロジェクトのチーム、データ、プロセスのつながり方に変革をもたらされます。設計と施工のデータがクラウドに集約され、ワークフローがシンプルになります。関係者全員が同じプラットフォームを利用することで、プロジェクトの透明性が高まり、正確な情報をリアルタイムで入手することが可能になります。

このように、オートデスクのクラウド コラボレーション ソリューションは、設計から施工まで、プロジェクトのライフサイクル全体を統合します。Revit、Civil 3D、AutoCAD などの代表的な製品を共通データ環境で連携させることで、業務が効率化し、成果の質が向上します。その結果、建設業界や個々のビジネスが改善するだけでなく、より良い世界の構築につながります。

**BIM Collaborate Pro で
プロジェクト デリバリーを
改善しませんか? 詳しくは
担当者にお問い合わせください。**

[詳細はこちら](#)